

第13回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議について

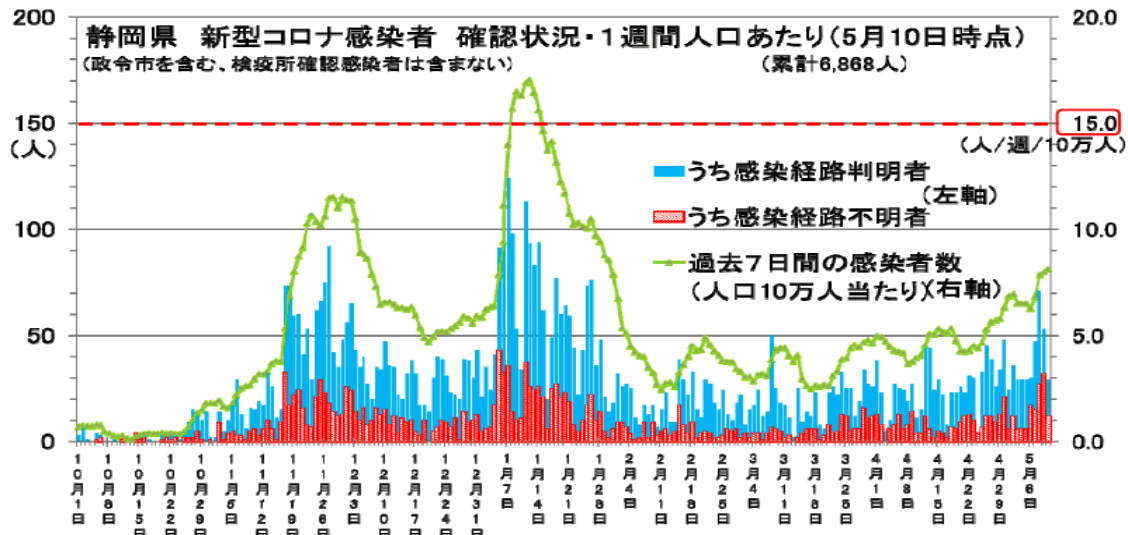
(健康福祉部感染症対策局)

1 要 旨

令和3年5月12日、「第13回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を開催し、感染流行期の評価及び第4波に備えた対策等について議論を行った。また、ワクチン接種状況について報告を行った。

2 議事内容

(1) 県内の患者発生状況や感染状況について



1週間の新規感染者数が県人口10万人あたり15人を超えると
国新型コロナ分科会のステージ3となり、飲食店の時短要請等が可能

P6

- ・ 今週に入り、急激に感染者数が増加し、病床占有率も西部地域を中心に上がっている。
- ・ 本県では約8割は変異株による感染と考えられ、4月下旬から発生しているクラスターもすべて変異株によるものではと推測される。

《委員意見》

- ・ 直近2週間の発生状況や病床占有率、今週に入り急速に感染者数が伸びていることを鑑み、委員は満場一致で『ステージⅢ』に引き上げるべき。
- ・ 変異株は、従来株による感染に比べ、高齢者以外の若い世代でも重症化する事例が発生しており、その重症化も1日で急速に進むこともある。
- ・ 感染力の強さが従来株よりも強いため、家族に1人でも感染者が出ると周りの家族全員が感染するということも起こっている。
- ・ 若い世代が活発に動くことで家庭内に変異株を持ち込み、両親、祖父母等に感染させ重症化してしまうおそれが大きくなっている。そのため、部活動や屋外での若い世代の感染にも今後より一層注意が必要。
- ・ 子どもたちの会食等集まりは親によって誘導されるので、親世代にも注意喚起を促していく。

* 委員からの『ステージⅢ』に引き上げるべきとの提言を重く受け止め、県として引き上げを視野にいれて検討を行う。

(2) 第4波に備えた対策等について

- ・ 来週までに病床は500床を確保できる予定。
- ・ 病床の回転率を上げていくため、後方支援病院（回復患者受入病院・約110病院）へ協力をお願いしていく。

<委員意見等>

- ・ 一般医療を一部止めて600床を確保していくタイミングについては、「早く依頼すべき」という意見が大半。
- ・ ホテル療養者や自宅療養者の療養環境及び急変時の対応体制等をよりきめ細かく支援していく必要がある。
- ・ 療養者ホテルについては最大限の受入ができるように回転率を上げていくべきである。

- * 病床確保について、今後、病床占有率が50%を超える時点では、通常医療を一部制限することを前提に更なる確保を進めることとなるため、医療圏ごとに説明をし、医療圏ごと方針が決まったところで早急に医療専門家会議に諮っていきたい。
- * 感染者の増加に伴い、ホテル療養者や自宅療養者も増加するため、療養環境整備や急変時の対応体制については、早急に取り組んでいく。

(3) 県内ワクチン接種状況について

- ・ 医療従事者に対するワクチン接種は1回目接種終了が67.4%、2回目接種終了が23.7%（5月10日現在）。現在、医療機関の他、医師会を中心とした集団接種が各地で実施されている。
- ・ 高齢者に対するワクチン接種は1回目接種終了0.04%（5月10日現在）。各市町において本格的に集団接種が開始されている。
- ・ 一般住民向けワクチン接種の開始時期は未定。

<委員意見等>

- ・ 『早く、広く接種する』が感染対策上最も重要である。
- ・ 県民、医療従事者、行政など県全体での協力が不可欠である。
- ・ 活動がさかんな若い世代から接種したほうが感染対策上有効なのではないか。
- ・ 感染者の8割は非高齢者であるため、その世代に『早く、広く接種』していくことは重要。予約なしでも接種できるような方法（学校単位・駅構内・ショッピングモール等）の検討もしていく必要がある。

- * 『早く、広く接種する』ことに県全体で注力していく。
- * 高齢者接種が終了した残りの対象者に対するワクチン接種の方法については、国とも協議しながら有効な策について今後検討していく。